

令和5年度第2回広島市公民館運営審議会 会議要旨

日時	令和5年10月23日(月) 午後2時30分～3時30分		
場所	広島市役所 本庁舎14階 第7会議室		
公開・非公開の別	公開	傍聴人	1人
出席者	委員 : 有田光宏、渡邊陽一、中尾常信、縄手淳子、西川富江、森重洋、岩元佳子、大坪眞理子、山川肖美 事務局 : 中谷市民局次長、田尾生涯学習課長、甲斐主査、中村主事 地域起こし推進課公民館担当課長 (区調整公民館長) : 砂原課長 (中区)、平野課長 (東区)、浅木課長 (南区)、倉本課長 (西区)、中村課長 (安佐南区)、森口課長 (安佐北区)、女鳥課長 (安芸区)、伊藤課長 (佐伯区) (公財)広島市文化財団 : 国府田次長		
資料名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度第2回広島市公民館運営審議会次第 ・ 資料1 令和6年度以降の広島市公民館学習会の実施方針について ・ 資料2 その他 ・ 参考資料1 令和5年度公民館学習会等事業計画一覧表 ・ 参考資料2 広島市公民館運営審議会関係法令等 (抜粋) 		

議事 (会議要旨)

<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 令和6年度以降の広島市公民館学習会の実施方針について</p> <p>〈説明〉 資料1に沿って説明 (田尾生涯学習課長)</p> <p>〈質疑等〉 山川委員長 今回の実施方針案については、第1回審議会の委員の皆さんからの意見と、公民館の職員からの意見を踏まえて事務局の方で修正をさせていただいている。なお、第1回の実施方針案から削除されているように見える箇所のはほとんどは、別の箇所に移動しているため、その確認や委員の皆さんの意見が反映されているか、また、それ以外に気づいた点があればご意見いただきたい。</p> <p>西川委員 戸山公民館の清掃活動は毎週火曜日の休館日に実施されているが、週に1回の活動では清掃が行き届かないため、年末にも清掃活動ができないか公民館へ相談している。このような公民館の清掃活動が、実施方針の体系にある「3学びの成果を発表・活用できる機会や場の提供」の「(2) まちづくり活動等の支援」の具体例「様々なボランティア活動支援」に該当するという理解で良いか。</p> <p>山川委員長 公民館の利用団体は、公民館の外でもボランティア活動をしているケースがあるため、ここでいうボランティア活動は、公民館の中での活動も含むが、公民館の外での地域での清掃活動を含むものとするが、事務局の考えはどうか。</p> <p>事務局 山川委員長のご意見のとおり、公民館を含めた地域を対象としたボランティア活動という意味合いで記載している。</p>

西川委員

参考までに、実際に地域で清掃活動をしている利用団体について教えていただきたい。

田尾生涯学習課長

館ごとに内容が違うため、全館の紹介をすることは難しいことから、1つの館の例を紹介させていただきたい。

平野二葉公民館長

二葉公民館の場合は、利用ごとに各団体に清掃をしてもらっている。以前に勤務していた仁保公民館では、年末に利用団体に集ってもらい、公民館の清掃活動をしてもらっていた。

その館ごとに活動内容は変わってくると思うが、二葉公民館については、東区役所との複合施設であり、業者が毎日区役所と公民館を清掃しているため、頻繁に清掃活動をしないでよい状況である。

ただ、普段利用している公民館をきれいにしたいという思いで清掃活動をしている利用団体は他の館にもいると思うので、ぜひ清掃活動の頻度等について公民館に提案していただき、引き続ききれいに使っていただければと思う。

森重委員

国際理解・国際交流を重点項目にしていただき良かったと思う。「1 地域社会の多様な学びのための環境づくり」の「(2) 青少年の健全育成支援」では子供の地域活動についての具体例があるが、国際理解・国際交流の項目の講座にも子供を対象とした講座があるかお聞きしたい。

事務局

現在も、国際理解・国際交流の中で、外国の料理を親子で作る講座を通して外国の食文化を知ろうという講座等を実施している他、子供も対象とした講座も実施している。

森重委員

もう1つ、「3 学びの成果を発表・活用できる機会や場の提供」の「(2) まちづくり活動等の支援」の具体例「様々なボランティア活動支援」から「公民館まつり」が削除されているが、公民館にとって公民館まつりはとても大きな行事であり、大切なまちづくり活動だと考えている。「公民館まつり」が具体例にない理由について教えていただきたい。

事務局

「3 学びの成果を発表・活用できる機会や場の提供」の「(1) 学習成果の活用支援」の具体例「グループ・団体の活動などにおける学習成果をまちづくりに生かす講座」は「公民館まつり」の中で実施しているグループ発表やいろいろな催し物も対象としているため、この中に「公民館まつり」が含まれていると理解していただきたい。

森重委員

今回初めて野球部の高校生達が、公民館まつりの準備のためにシートを敷いたり、まつりに必要な物品の上げ下ろしの手伝いをしてくれて大変助かった。普段公民館を使う人だけではなく、若い人が公民館行事に参加することで、より地域のまちづくりに繋がっていくのだろうと思う。

山川委員長

「3 学びの成果を公表・活用できる機会や場の提供」の「(1) 学習成果の活用支援」の具体例から「公民館まつり」が読み取れないのではないかという意見があったが、おそらく「講座」と書かれてあるため、学習機会を想起させ少し狭い捉え方をされているからではないだろうか。

「事業」を「講座」に統一したことで、学習プログラムに特化したような受け取り方をされる可能性がある。第1回の実施方針案は「講座」と「事業」の使い分けがされていたのではないかと思うが、「講座」に表記を統一することで、公民館で実施する催し物が網羅できるかお聞きしたい。また、「公民館まつり」については例示として残してはどうだろうか。

田尾生涯学習課

前回の審議会で、同じような言葉が乱立しているというご意見を踏まえて、言葉の統一をさせていただいたが、使い分けの部分で「事業」の方が意味合いを幅広く取れて、理解がしやすいというご意見でしたので、改めて言葉の使い方についての見直しをした上で実施方針を決定したい。

岩元委員

感想として、「3 学びの成果を公表・活用できる機会や場の提供」の「(2) まちづくり活動等の支援」の具体例「地域の人材の能力や経験をまちづくりなどに生かす講座」が追加されたことにとっても希望が持てた。

地域には様々な経験や知識を持っている方が多くいらっしゃる、その方たちが地域で活躍するきっかけ作りや活動の支援を公民館が行うことで、何か素敵なイベントが実施できるのではないかと思う。

山川委員長

今回の方針案はよく精査されており、委員の皆さんからの意見と公民館職員の意見を反映しつつ、具体例の区分けが曖昧な箇所や、重複していた箇所についても整理していただいている。

それでも、「公民館まつり」を明記した方がよいのではないかといった意見も改めていただいているため、委員の皆さんから見てさらに思う点や意見をいただきたい。

私からの意見として、大項目「1 地域社会の多様な学びのための環境づくり」の「(1) 子育て環境の充実とつながりづくりの支援」の「①家庭の教育力の向上支援」の具体例「子どもの発達段階<乳児期、幼児期、児童期、思春期>に応じた家庭教育講座（親の教育力を高める講座）」のカッコ内「（親の教育力を高める講座）」は、親だけではない可能性があるため「親等」に変更し広がりを持たせた方がよいと思われる。

また、同じ大項目の「②子育て支援」の具体例「子育てオープンスペース（子育て世代の情報交換や交流）」のカッコ内「（子育て世代の情報交換や交流）」は説明ではないだろうか。先ほどの「子どもの発達段階<乳児期、幼児期、児童期、思春期>に応じた家庭教育講座（親の教育力を高める講座）」のカッコ内「（親の教育力を高める講座）」は例示と思われるため、例示なのか説明なのか区別がつくよう、例えば例示については「など」を付けたり「例」を頭に付けるというような書き分けをしていただき、それ以外はそのままするといった整理をしていただきたい。

森重委員

「1 地域社会の多様な学びのための環境づくり」の「(2) 青少年の健全育成支援」の「②学習・体験活動の推進」の具体例「青少年を対象とした映画会、工作教室や生活体験としての家事の講習や自然体験としての川遊びや里山遊び、農業体験」には「など」が無くてもよいのか。

事務局

一番最後の具体例に「など」を付けて、各区分の具体例の表記の仕方を統一させていただいた。

田尾生涯学習課長

先ほどの山川委員長からの意見と併せて、具体例に「など」を付けてより分かりやすくなるように整理させていただきたい。

山川委員長

これ以上意見がないようなので、令和6年度以降の実施方針については今回の資料の内容で進めさせていただきたい。なお、微細な修正は事務局に一任し、大きな修正等がある場合は委員長が確認し、委員長で判断が付かなければ、改めて委員の皆さんに審議していただくという対応にしたい。

(2) その他（令和4年度公民館業務実施状況の評価）

〈説明〉

資料2に沿って説明（田尾生涯学習課長）

〈質疑等〉

岩元委員

目標利用者数は、新型コロナウイルスの流行前に設定された数字に基づいたものであると思うが、新型コロナウイルス流行以前と現在とでは利用状況も変化しているため、目標利用者数の見直しをされないのか教えていただきたい。

なお令和4年は利用者の増減率が60%となっており、状況がよくなっていることは読み取れた。

事務局

今期の指定管理期間は令和4年から令和8年までであり、その期間内は基本的に目標利用者数の見直しは行わないこととしている。

山川委員長

計画との関係で、利用者数をどのように評価するか悩まれていると思う。この利用者数は公民館事業の評価に反映されているのか。

事務局

事業の評価については、業務の実施状況と利用者の満足度により評価しており、目標利用者数は評価に反映されていない。

3 閉会

山川委員長

熱心にご意見、ご支援いただいた。これ以上意見がないようなので、これをもって本日予定していた議事を終了する。せっかくの機会であるため、公民館を利用する中でこういったことがあれば良いといった意見や感想、質問等があればいただきたい。

繩手委員

常々思っていることであるが、地域の方のボランティア清掃や花ボランティア以外の手伝いがしたいが具体的に思い浮かばない。公民館まつりなどの事業以外で公民館から地域の方にしてもらいたいことを発信していただければ、利用者の活動目的にもなると思う。

山川委員長

ボランティア活動以外でも、地域の方々の協力によって実施できた活動等があれば教えていただきたい。

平野二葉公民館長

これまで二葉公民館で図書ボランティアを受け入れたことはなかったが、つい最近、新聞の記事を見て、公民館の図書ボランティアに参加したいと問い合わせを受け、本日の午前中にその方と面談し、ボランティアを募集する検討を始めたところである。

このように、市民の方からの声を上げたり、地域の会合の中でボランティア活動等をしてみたいという意見があれば、公民館だけでは難しいかもしれないが、地域の方と一緒に取り組んでいきたいと思っている。

山川委員長

学校の方からも公民館への要望等があればお聞きしたい。

有田委員

先週の土日に三入公民館の公民館まつりがあったため、見学させていただいた。催し物全てを見たわけではないが、新型コロナウイルス流行前に比べると、参加をされている方々も増えており、これから盛り上がっていくのだろうという感想を持った。

渡辺委員

五日市観音中学校区でも昨日公民館まつりが開催され、その中のイベントに司会役として生徒が参加した。中学生が地域に出ていき、ボランティア活動をする中で、地域の方に声をかけていただき、褒めてもらえる、教師が声をかける以上に、子供たちの自己肯定感が高まり、励みにもなるため、引き続き地域の方から声をかけていただき、小中学生をボランティア活動に参加させていただきたい。

中尾委員

ボランティア活動に関して、社会福祉協議会では地域の方の困りごとについての相談窓口を設けており、網戸が外れて自分では治せない人に対して、修理に長けた人を紹介し、ボランティアで修繕をするなど、個人が持っている技術や物を、地域のために生かせるような活動をしている。

温品公民館の設備について言えば、公民館の駐車場が狭く利用の妨げになっていることや、エレベーターがないため2階以上に上がれないといった意見が出ている。何年も前から同館の建替えの要望を出しているが、未だ建て替えの目途は立っていない。施設の利便性の向上を測ることが出来れば利用が増えるのではないだろうか。

山川委員長

委員の皆さんからの要望を含めた意見について、公民館の職員が対応できるものもあれば、生涯学習課が予算を取って検討しなければならないものもある。また、公民館と学校との連携についても、継続して対話を続けていかないと要望が見えてこないため、まずは意見交換の場を作ることが大切かと思う。